

10月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	
4★	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

11月	日	月	火	水	木	金	土
1◆	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

12月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

1月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

2月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20★	
21	22	23	24	25	26	27★	
28							

3月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

■ 休館日 ■ 特別企画展「辻村寿三郎～人形曼陀羅 REVIVAL～」 ■ 企画展「にんばくの雛祭り～お雛さまのよそおい～(仮)」
■ 「第33回伝統工芸人形展」 ■ 展示室1・2(常設展)のみ開室
● 常設展展示解説 午後2時～ ※申込不要、要観覧券。 ◆ 特別企画展関連イベント ★ ワークショップ
※12月8日は臨時休館、3月1日は臨時開館。
※特別企画展及び企画展会期中、「着物で岩槻」を開催します。着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料になります。

これからの展覧会

「第33回伝統工芸人形展」
2026年12月12日(土)～12月25日(金)

当館におけるはじめての全国公募展として、日本工芸会との共催により開催します。

「玉砕邪」 中村信喬 令和7年(2025) 個人蔵
第32回伝統工芸人形展 文部科学大臣賞受賞



企画展
「にんばくの雛祭り～お雛さまのよそおい～(仮)」
2027年1月23日(土)～3月22日(月・休)

幾重にも衣を重ねたゴージャスな女雛、シックにきめた男雛、リンクコーデの五人囃子など、さまざまな衣装を身にまとった人形たち。にんばく恒例の雛祭り展、今回はお雛さまのよそおいに注目し、装束の様式や文様に込められた意味を紹介します。

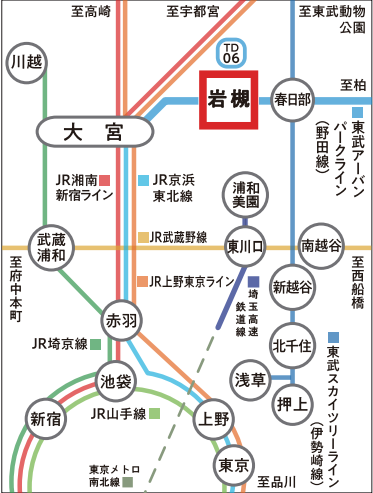
※「にんばく」は、さいたま市岩槻人形博物館の愛称です。
天野家雛段 大正～昭和時代



【にぎわい交流館いわつき】
博物館に隣接する、にぎわい交流館いわつきでは、体験講座やイベント、カフェ・ショップでの食事や買物をお楽しみいただけます。(Tel.048-757-2981 / Fax.048-793-4074)
※イベント等の詳細は、ホームページをご覧ください。
https://www.nigiwai-koryukan.jp/



■ 基本情報 ■
【開館時間】 午前9時～午後5時
※入館は閉館時刻の30分前まで
【休館日】 月曜日(休日の場合は開館)
年未年始(12月28日～1月4日)
※臨時に休館・開館することがあります。
【観覧料】 一般:300円(団体:200円)
高校生・大学生・65歳以上:150円(団体:100円)
小学生・中学生:100円(団体:50円)
※障害のある方と、その介護者の方1名は半額になります。
※団体は20名以上。
※展覧会により観覧料が異なる場合があります。
※掲載資料のうち、特に表記がないものはさいたま市岩槻人形博物館蔵です。





〒339-0057
埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1
Tel.048-749-0222 Fax. 048-749-0225
https://ningyo-muse.jp/
IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS Vol.12
2026年8月発行 編集・発行:さいたま市岩槻人形博物館

Instagramで情報発信しています!



◎交通案内
【電車をご利用の場合】 東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分
※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。
【車をご利用の場合】 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分
※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。

IWATSUKI
NINGYO
MUSEUM
NEWS

Vol.12



『新八大伝』より「伏姫」(部分) 辻村寿三郎 昭和48年(1973)
アトリエジュサブルー蔵

特集
特別企画展
「辻村寿三郎～人形曼陀羅 REVIVAL～」

Contents
特別企画展「辻村寿三郎～人形曼陀羅 REVIVAL～」／常設展 Close-up／イベント Information／
学芸員の研究ノート第12回「人形の『人間国宝』を支えた西澤笛畝」／開館日カレンダー／これからの展覧会



特別企画展

「辻村寿三郎～人形曼陀羅 REVIVAL～」

2026年9月19日(土)―12月6日(日)／展示室3

日本を代表する人形作家である辻村寿三郎(1933～2023)。その独創的で妖艶な人形は、1970年代のNHKの人形劇で脚光を浴びて以降、現在まで多くの人々を魅了し続けています。本展では、広島県三次市にあるアトリエジュサブロー・辻村寿三郎人形館のコレクションのなかから、初期から晩年に至るまで、多様なシリーズの作品を選びすぐり、寿三郎の世界を大観します。NHKの人形劇で実際に使用された人形をはじめ、展覧会として関東初出品となる「麒麟獅子廓の寿」、晩年の大作「マリー・アントワネット」など、代表作も登場します。

「人形は鏡」――。生前寿三郎が遺したその言葉通り、見る人の心をも映し出す寿三郎人形からは、令和の現代を生きる私たちにとっても、自己や社会を見つめ直すきっかけとなる、普遍的なメッセージを感じ取ることができるのではないのでしょうか。本展は、「辻村寿三郎～人形曼陀羅 REVIVAL～」と題して、寿三郎人形の再上演を試みます。広島から関東へ出品する展覧会としては、没後初の大回顧展となる本展。この機会をお見逃しなく！

《観覧料》

一般/500円(350円)、高校生・大学生・65歳以上/250円(150円)、小学生・中学生/150円(100円)

※()内は20名以上の団体料金。 ※障害のある方と、その介護者の方1名は半額になります。

※特別企画展の観覧券で常設展示室もご覧いただけます。 ◎「着物で岩槻」:本展会期中、着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料無料。

《関連イベント》

1 二代目辻村寿三郎氏によるトークショー＆人形舞

日時:①9月19日(土)、②11月1日(日) 各日午前10時30分～、午後2時～の2回開催 ※各回40分程度

出演:二代目辻村寿三郎氏 定員:各回50名 ※応募者多数の場合は抽選

2 二代目辻村寿三郎氏サイン会

日時:①9月19日(土)、②11月1日(日) 各日午前11時30分～、午後3時～の2回開催

※申込不要。直接当館ロビーにお集まりください。 ※サイン対象は、当館ミュージアムショップでご購入いただいた対象商品に限ります。

※関連イベント**1**の申込方法等詳細は、展覧会チラシ及び当館ホームページをご覧ください。



見どころ紹介 ぜひ👀👀を見てください！

これだけは見逃せない!代表作5選！

1～3.『新八犬伝』より「伏姫」、『真田十勇士』より「真田幸村」・「真田昌幸」

寿三郎は、1970年代のNHKの人形劇『新八犬伝』の人形美術を担当し、一躍有名になりました。その「伏姫」をはじめ、続く『真田十勇士』の「真田幸村・昌幸」など、当時テレビの前で釘付けになった人には懐かしの作品が登場します。

4.「麒麟獅子廓の寿」（上部ポスター画像参照）

歌舞伎舞踊の演目「英執着獅子」をモデルに、紅白の牡丹と麒麟の頭を両手に配した華やかな作品で、平成21年(2009)、広島県三次市で開催された「辻村寿三郎人形展」に合わせて、実行委員会の依頼により制作されました。作品名には、「廓」と「来るわ」を掛けており、三次にお客さんがたくさん来るようにという願いも込められています。辻村寿三郎人形館に収蔵されて以降、関東初出品です！

5.「マリー・アントワネット」

寿三郎が81歳の時に完成した、高さ83cmにもおよぶ晩年の大作です。この頃寿三郎は、毎年フランス・パリに訪れ、アンティークの生地や宝飾品を買い集め、4～5年かけて、この豪華な衣装の人形を完成させました。人形の素材まで本物にこだわった、寿三郎人形の魅力が詰まった作品です。

なお、4、5は、360°見回せるケースに展示しますので、その魅力を隅々までご堪能ください！



『新八犬伝』より 「伏姫」
昭和48年(1973)
アトリエジュサブロー蔵



『真田十勇士』より
「真田幸村」
昭和50年(1975)
広島県三次市蔵



「マリー・アントワネット」
平成26年(2014)
アトリエジュサブロー蔵

※すべて、画像提供：NHK エンタープライズ中部

常設展

Close-up

展示室2「コレクション展示 日本の人形」は定期的に展示替えを行っています。5,500件以上の所蔵資料のなかから、当館を代表する名品や季節にちなんだ作品を随時展示していますので、ぜひご覧ください。

こ しょう にんぎょう さん ば そう
御所人形 三番叟

江戸時代

展示室 2

2026年9月15日(火)～12月6日(日)

能楽「翁」に見立てた御所人形。三番叟・翁・千歳の三人が天下泰平・国家安泰・五穀豊穡などの祝言を謡い、祝福の舞を踊ります。翁は本来、白髭をたくわえた老齢の神ですが、本作では白い肌と三頭身のふっくらとした子供の姿が特徴の御所人形で表現されており、親しみやすい姿が魅力です。



はな まき つち にんぎょう し ば おん こう かめわり
花巻土人形 司馬温公裴割

江戸時代

展示室 2

2026年11月中旬～2027年4月下旬(予定)

本作は、中国の学者・司馬温公が幼少期に遊んでいたところ、友人が水甕に落ちたため、側にあった石で甕を割って助けたという故事をモチーフにした作品です。華やかな赤地に配された桜文様と、愛らしい童子たちの表情が見どころです。



第12回 学芸員の研究ノート

人形の「人間国宝」を支えた西澤笛畝

「人間国宝」という言葉は広く知られていますが、実は人形の分野にもいることをご存じでしょうか。人間国宝とは、正式には「重要無形文化財保持者」といい、優れた芸能や工芸技術を高度に体得し、その保存・継承を担う者として国から認定された保持者を指します。人形では、昭和30年(1955)に平田郷陽と堀柳女が衣裳人形の保持者として初めて認定され、以来、歴代の人間国宝は7名を数えます。

こうした人形作家の人間国宝認定の背景には、大正・昭和の日本画家で、人形玩具研究家・収集家として活躍した西澤笛畝の尽力がありました。笛畝は、重要無形文化財(工芸)をテーマとする座談会で、工芸・文化財分野の有識者らから人形の認定作品の評価などをめぐって批判的な意見が出されるなか、かねてより人形の芸術的な価値を見出していた立場から、「…指導や開拓の仕方によつてはまたおもしろいものも現われてきやしないか、そこに大きな興味と期待を持っています。」※と、人形芸術の将来への期待を述べています。笛畝が一貫して抱き続けたこうした思いは、昭和初期の人形芸術運動の推進をはじめ、その生涯

イベント

Information

■**にんばくオリジナルうちわ作り**

10月4日(日)の岩槻まつりに合わせて、お祭りにぴったりなうちわ作りのワークショップを開催します。岩槻人形博物館でうちわを作成して岩槻まつりを楽しみましょう！

日時:10月4日(日) 午前10時～午後3時、先着300名(1人1本)

会場:当館会議室ほか 対象:どなたでも ※はさみを使用します。

※申込不要、参加無料。



■**春のワークショップ**

雛祭りの時期に合わせて、オリジナル缶バッジ作りのワークショップを開催します。

日時:2027年2月20日(土)、27日(土) 各日午前10時～午後3時、

各日先着100名(1人1個)

会場:当館会議室ほか 対象:どなたでも ※申込不要、参加無料。

■**岩槻人形博物館 ナイトミュージアムのお知らせ**

以下の日程で開館時間を延長します。いつもとはちがう雰囲気をお楽しみください。

日時:10月4日(日)、17日(土) 午後5時～8時

※入館は閉館時刻の30分前まで

※10月4日(日)は「2026 人形のまち岩槻まつり」が開催されます。

主催:人形のまち岩槻まつり実行委員会



に し ざ わ て き ほ 西澤笛畝が支えた「人間国宝」の人形

にわたる活動の根底にあり、人形の技と美が重要無形文化財として評価される基盤を築きました。さらに、人形作家の人間国宝認定後も日本工芸会初代理事長として、人形芸術の振興を担いました。

なお、笛畝が収集した人形は、当館に受け継がれ、所蔵コレクションの柱となっています。その当館では、12月12日(土)から、日本工芸会との共催により「第33回伝統工芸人形展」を開催します。笛畝が築いた人形文化の歩みに思いを馳せながら、現代へと受け継がれる人形の技と美を、ぜひ展示室でご覧ください。

(学芸員 矢島璃子)

※柳宗悦・西澤笛畝・小山富士夫・杉原信彦「重要無形文化財(工芸)をめぐる」『芸術新潮6-8』新潮社、1955年、168～170頁



第2回日本伝統工芸展にて昭和天皇・香淳皇后に人形を案内する西澤笛畝(左端)
昭和30年(1955)10月7日